

第9回ベクター賞

エナジーチェーンの使用事例を募集開始

イグス株式会社（東京都墨田区）は、自社の樹脂製ケーブル保護管・エナジーチェーンの使用事例コンテスト「ベクター賞」の募集を開始しました。

今回で第9回目の開催となるベクター賞は、産業用途におけるイグスのケーブル保護管・エナジーチェーンの使用事例を募集し、革新的な事例を表彰するコンテストです。2008年から隔年で開催され、年を追うごとに応募事例数を増やしています。2022年は、世界36の国と地域から233件の応募がありました。

技術面・コスト面に優れ、独創性にあふれる事例にベクター金賞・銀賞・銅賞が授与される他、特にサステナビリティに優れたプロジェクトを表彰するグリーンベクター賞も設けています。最優秀賞のベクター金賞には5,000ユーロ、銀賞には2,500ユーロ、銅賞とグリーンベクター賞には1,000ユーロの賞金が授与されます。応募締め切りは2024年2月9日で、各分野を代表する研究者や業界誌、およびメーカーの専門家によって構成される審査員が受賞者を選出します。授賞式は2024年4月にドイツで開催されるハノーバーメッセで行われる予定です。

エナジーチェーンを活用する皆様からの創造的な事例の応募をお待ちしております。

ベクター賞2024に関する詳細はこちら

<https://www.igus.co.jp/info/vector-award>

使用事例の応募フォームはこちら

<https://registration.vector-award.com/ja/registration-for-vector-2024-2/>

ベクター賞2022の受賞事例

●ベクター金賞：HUNGEXPO多目的ホール／Gepber Szinpad社（ハンガリー）

ハンガリー・ブダペストHUNGEXPO国際見本市センターの多目的ホールの事例が受賞しました。ホールの変形する床下の電気機械式昇降装置に、エナジーチェーン3400型とチェーンフレックス動力およびデータケーブルが使用されています。ボタンを押すだけで映画館のような階段式の構造や、オーケストラピットのある舞台を作ること

プレスリリース

2023年10月31日

ができる自動化アプリケーションにより、複数の大きなイベントを最小限の労力で開催することが可能となりました。

●ベクター銀賞： サッカースタジアムの芝育成用照明システム/Rhenac GreenTec社（ドイツ）

フェルティンス・アリーナ（VELTINS Arena）の芝育成用照明システムの事例が受賞しました。ローレチェーンによって、120mストロークでの押し引き力を最小限に抑えています。システム内ではショートストローク用のコンパクトなエネルギーチェーンとチェーンフレックスケーブルも使用されており、長寿命を実現しメンテナンス費用を抑えています。

●ベクター銅賞：世界最長規模のエネルギーチェーン/Talwandi Sabo Power社（インド）

バケットホイールエクスカベーターにエネルギーチェーンシステムを使用した事例が受賞しました。ケーブル保護管、ケーブル、センサーを組み合わせることで、プラントの稼働率、耐久性、運転中の安全性を向上させています。プラスチック製のエネルギーチェーンは重量削減やケーブルガイドの簡素化につながり、オペレーターのメンテナンスの手間や費用を大幅に削減しています。

●グリーンベクター賞：経済的な灌漑システム/Dercks Gartenbau社（ドイツ）

45mストロークの高精度な灌漑システムにエネルギーチェーンを使用した事例が受賞しました。わずか4年後のイニシャルコスト償却を予定した事例です。

以上



プレスリリース

2023年10月31日

イグス株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 15 階

Tel: 03 (5819) 2030 (代表)

<https://www.igus.co.jp>

<プレスリリース・取材のお問い合わせ>

Tel: 080 4598 5043

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: mmineyama@igus.net

-イグスについて-

イグス(本社ドイツ)は、様々な産業機械や製品の可動部分に使われるエンジニアリングプラスチック製品の開発・製造・販売を行うグローバル企業です。プラスチックを開発・成形する確かな技術で、plastics for longer life®(↑寿命を延ばしてコストを下げる↓)を目標に、世界中のお客様にイノベーションと安全性を届けています。

当社は1946の創業以来、無潤滑高機能プラスチックを使用したケーブル保護管、可動ケーブル、樹脂ベアリングにおいて世界のマーケットをリードしており、近年はローコストオートメーションロボット、3Dプリント製品、インダストリー4.0向けの予知保全システム・スマートプラスチックなど、様々な製品を開発し事業ポートフォリオを拡大しています。

現在、世界80以上の国と地域の企業が製品・サービスを採用しており、2022年の売上高は9億6,100万ユーロ(約1500億円)に達しました。また、環境投資施策として、ドイツでは使用済みプラスチックのリサイクルプログラムや、プラスチックごみをオイルに還元するプロジェクトのサポートについても積極的に推進しています。

"igus", "Apiro", "chainflex", "CFRIP", "conprotect", "CTD", "drylin", "dry-tech", "dryspin", "easy chain", "e-chain", "e-chain systems", "e-ketten", "e-kettensysteme", "e-skin", "e-spool", "flizz", "ibow", "igear", "iglidur", "igubal", "igutex", "kineKIT", "manus", "motion plastics", "pikchain", "readychain", "readycable", "ReBeL", "speedigus", "triflex", "roboLink", "xirodur", and "xiros"は、igus GmbHの登録商標です。"dry-tech", "ジッパ-", "isense", "smart cable chainflex", "e-skin", "xiros", "e-loop", "CFCLEAN"は、イグス株式会社の登録商標です。"Recycle" 及び "igus:bike"はigus GmbHの商標です。"e-chain"はイグス株式会社の商標です。